

職員研修計画

01：年次別研修

1年目：1年目には、まず社会人・組織人・医療人としての基本的知識や態度が求められます。入職時には組織で働く上で共通認識・知識が必要な研修を行います。また、患者や同僚等との信頼関係の構築、チーム医療、医療安全等すべての基本となるのはコミュニケーションであるため、1年目には実践を踏まえ、論理的に、正確に、「報告・連絡・相談」できるよう支援します。

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	病院組織論	伊勢赤十字病院の歴史・運営方針・医療政策	1年目
		伊勢赤十字病院の概要・組織・経営	
		健康管理	
		看護部紹介・看護部活動	
		就業規則・処務規程の説明/日本赤十字社職員倫理規定・個人情報保護・ハラスメント	
		災害医療について	
		RRS（院内迅速対応システム）について	
		化学物質を安全に取り扱うために	
		社会人基礎力講座 社会人としての心構えと社会人基礎力 医療現場で必要とされる基本的な接遇 自己理解と他者理解	
		情報セキュリティについて	
		保険診療について	
		地域連携について	
		メンタルヘルス	
勤務評定説明			
02	医療安全概論(総論)	1. 与薬ミス防止対策・輸血の安全管理 医療安全の基本的な知識 リスクマネジメント 臨床で起こりやすいインシデント・アクシデント 与薬ミス防止対策 輸血の安全管理 2. 医療安全とレポート インシデント・アクシデントレポート提出の意義と活用方法	
03	医療安全方法論	1. 医療ガスの正しい知識と安全な取り扱い 医療ガスの種類 医療ガスの性質・用途 酸素ポンプの残量計算 酸素流量計の取り扱い 吸引器の取り扱い 2. 放射線の安全利用 放射線とは 放射線の人体への影響 放射線の安全管理 MRIの安全性	
04	感染対策(総論)	病院感染対策 標準予防策 感染経路別予防策 廃棄物の取り扱い・洗浄・消毒・滅菌	
05	接遇研修	社会人としての心構えと基礎力 組織とコンプライアンス遵守 利用者にとっての満足とは ビジネスマナーの基礎	
06	組織における仕事の進め方	実践の振り返り 報告・連絡・相談の仕方	
07	医療現場におけるメンタルヘルス	1. 自分自身を知り、他者とのコミュニケーションを通して、支え合う関係を構築する。 2. 医療現場における特有のストレスについて理解する。 3. 事例を通してコミュニケーションを行い、医療現場における特有のストレスに焦点をあてたケアについて考える。	2年目 看護職2年目
08	コーチングスキル研修	1. コーチングスキルトレーニング：「傾聴」、「質問」、「評価（認める）」 ※ロールプレイや演習などにより、スキルの習得を目指す。 2. 事例を通してかかわりを検討する	看護職：レベルⅠ取得者（エントリー制） 他職種：3～5年目
09	ファシリテーション研修	1. 会議・ミーティングの問題 会議のテーマ、時間、議論できる環境 2. ファシリテーションの定義と種類 3. ファシリテーターに求められるスキル 4. ファシリテーターの実践 ～会議シミュレーション 5. ファシリテーション演習（会議ロールプレイング）	全職種 係長、リーダーで未受講者の者 看護部長で希望者
10	組織の活性化研修	1. モチベーションの理論、意味、効果、効用、重要性 仕事に対する高い「貢献意欲」へとつなげる 組織風土を「活性化」させる 2. モチベーション・マネジメントの考え方・スキルの習得 モチベーションをコントロール・マネジメントしていくための考え方、スキル 3. ワーク・エンゲイジメントを高める 4. 自分の仕事の価値を認める・メンバーの仕事の価値を認める 5. 自分もメンバーも生き生き働く職場づくり	他職種：36歳以上 看護職：ラダーレベルⅡ取得者およびレベルⅡ相当以上で未受講者

採用者・職場復帰者研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
11	〈採用者・職場復帰者用〉 病院組織論/医療安全	1. 伊勢赤十字病院の歴史・運営方針、最新の医療界の動き、医療政策 2. 伊勢赤十字病院の概要、組織、経営、個人情報の保護、ハラスメント等 3. 看護部の概要 4. 医療安全の基本的な知識、レポート 5. メンタルサポート	中途採用者・職場復帰者 ※産休・育休その他1年以上の長期休暇を取得した者

職員研修計画

02：管理者研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	労務管理研修	未定	課長職以上の管理職
02	★メンタルヘルス研修	未定	管理者
03	★ハラスメント防止研修	未定	管理者

03：全体研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	院長講演（方針説明）	1. 近年の医療情勢 2. 地域における当院の役割と今後の方向性 3. 経営課題	全職員 （委託・派遣含む）
02	【◆医療倫理研修】人を対象とする生命科学・医学系研究に関する生命・医学系指針	「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイドライン」では、「研究者等は、研究の実施に先立ち、研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研修を受けなければならない。また、研究期間中も適宜継続（少なくとも年に1回程度）して、教育・研修を受けなければならない」と定めています。研究に携わる方は必ずご参加ください。講演会に参加された方には、受講証が発行されます ※1年に1回受講	全職員 ◆専門医機構共通
06	★個人情報及び特定個人情報にかかる研修/迷惑電話の対応	個人情報保護法を理解し、正しい取り扱いができるようにしましょう。	全職員 ★必須研修
03	★保険診療研修	保険診療についての正しい知識を身につけましょう	全職員 ★必須研修
07	クリニカルバス大会「つかっていますか？「クリニカルバス」、できていますか？「バリアンス分析」」	クリニカルバスは複雑化・高速化する医療において、一人ひとりの患者に対して医師や看護師・薬剤師・栄養士など多くのメディカル・スタッフと事務部門が協働して、効果的・効率的に質の高い医療を提供するための重要なツールです。	全職員 地域医療従事者
12	認知症と共に生きる	認知症の新薬が日本でも2種類認可されました。また修正可能とされる危険因子も改定されました。今後ますます増加する認知症高齢者と共に希望をもって生きるため、自分たちで何ができるかを考えていきましょう	全職員 地域医療従事者
05	倫理カンファレンスを体験しよう	倫理カンファレンスを体験することで、現場でのモヤモヤ感、疑問を解決する手がかりを見つけましょう！	全職員 地域医療従事者
16	★メンタルヘルス研修	テーマ未定	全職員
14	ワークライフバランス委員会研修	テーマ未定	全職員
10	【■情報セキュリティ研修】	近年増加しているサイバー攻撃に備えたセキュリティ対策の底上げを図ることが重要であるため、研修に参加して頂き、情報セキュリティの基本的な考え方についてご理解いただきたいと思います。	全職員 ■推奨研修
09	【■ハラスメント防止研修】日本赤十字社ハラスメント防止研修	配信	全職員 ■推奨研修
11	■がん相談支援センターについて	がん診療連携拠点病院の設備に関する新指針が通知され、「自施設の診療従事者等に、がん対策の目的や意義、がん患者やその家族が利用できる制度や家族関係との連携体制、見施設で提供している診療・患者支援の体制について」学ぶ機会を年1回以上確保することが必要となりました。拠点病院の職員として知っていただきたい内容を本研修で提供いたします。	全職員 ■推奨研修
09	★ハラスメント防止研修	05：医療安全研修_02【★◆医療安全管理研修】医療者の破壊的行動を防ぎ働きやすい職場を作ろう！と兼ねます	
08	★接遇研修	05：医療安全研修_02【★◆医療安全管理研修】医療者の破壊的行動を防ぎ働きやすい職場を作ろう！と兼ねます	

04：TQM研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	TQM支援研修① TQMの概要からテーマ選定まで	TQMの概要からテーマ選定までを学びます	全職員
02	TQM支援研修② TQM活動の進め方	TQM活動の進め方について学びます	全職員
03	TQM支援研修③ 現状把握・目標設定	TQMの進め方 現状把握や目標設定の仕方について学びます	全職員
04	TQM支援研修④ 要因解析（KJ法、フィッシュボーン等）	TQMの進め方 要因解析の方法を学びます	全職員
05	TQM支援研修⑤ 対策立案・実施	TQMの進め方 対策の立案や実施方法について学びます	全職員
06	TQM支援研修⑥ 効果確認・歯止め・標準化・活動報告書の作成	TQMの進め方 効果の確認や歯止め、標準化、活動報告書の作成について学びます	全職員
08	TQMキックオフ大会	発表大会のキックオフ	全職員
10	TQM発表大会	エントリーグループの取り組み成果を発表します	全職員

05：医療安全研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	【★医療安全管理研修】 その確認で大丈夫ですか	自分で行う患者確認や薬剤確認の方法を見直してみませんか？正しい確認方法で患者の安全を守ります	全職員 ★必須研修
02	【★◆医療安全管理研修】 医療者の破壊的行動を防ぎ働きやすい職場を作ろう！	DCB（医療者の破壊的行動）の発生機序と対処について学び、働きやすい職場環境づくりが安全な医療の提供につながることを考える機会とします。	全職員 ★必須研修 ◆専門医機構共通講習
13	☆診療用放射線の安全利用に係る研修	医療法施行規則改正により令和2年度から診療用放射線の安全利用に係る研修を行うことが義務づけられています。医療被ばくの方を中心に、診療用放射線の安全利用について学んでいただきます。	★特定の職種必須研修 患者の放射線検査の説明にかかわるすべての人（医師・歯科医師・歯科衛生士・放射線技師・看護職は必ず受講してください）
24	今年度新任医師の抗がん剤治療処方入力説明会		今年度赴任医師 (対象科のみ)
06	医療安全ワークショップ	事故事例を多職種で分析し対策を考えます	各部署から1~2名参加(看護職は3年以上)
12	CVポート研修	30分程度の実技研修を行います 研修に参加する前にナースング・スキルの動画を視聴し、テストに合格してからご参加ください	研修医・看護職 4ブース： 1ブース：5~7名程度
26	医療用テープの種類と使い方	日々のケアでテープの種類や使用用途に迷いことはないでしょうか。高齢者などスキナーリスクが高い患者が多い中、どうしたらテープによる皮膚障害を予防できるんだろうと思うことも多いかと思えます。今回はテープの種類や使用用途の説明を聞いていただいたあと、貼付と剥離方法の演習を行います。1回30分程度の研修会となりますので、ご参加ください。	全職員
18	自信を持って出来る！嚥下スクリーニングの手法と結果の捉え方	普段からムせていたり、痰が多かったりする患者さんへの嚥下スクリーニングは怖いという声をよく聞きます。安全に嚥下スクリーニングを行うために、嚥下スクリーニングの正しい方法を復習しましょう。またその結果をどう捉えるかも少しだけお伝えします。	全職員 (各時間：定員14名)
14	MRI検査の注意事項	MRI検査に携わる職員の方を対象に、その安全性に関わる内容についてお話しします	全職員
07	中部ブロック赤十字病院 医療安全推進担当者研修	リスクマネジャー及びリスクマネジャーを補佐する立場として必要な知識・態度・技能を習得します	部署で医療安全に携わっている方
03	麻薬の取り決めと麻薬返納における確認事項	麻薬の使い方や基礎知識、管理・返納時の注意点について理解を深め医療事故の予防に役立てましょう。また、麻薬返納時の手順（施用表記入方法及びカルテ入力）を理解し、手順の不備を減らしましょう。	看護職 ※新人看護職は必須
15	内服・注射薬の安全な投与と管理について	内服・注射薬の安全な投与と管理について、基本的な注意事項の理解を深め、医療事故の予防に役立てましょう。	看護職 ※新人看護職は必須
20	内服・注射薬の安全な投与と管理について（各部署別）	内服・注射薬の安全な投与と管理について、基本的な注意事項の理解を深め、医療事故の予防に役立てましょう。	各部署看護職 ※新人看護職は必須

06：院内感染対策研修

★下記の研修のうち、2つは受講することが必要です。

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	【★感染対策基礎研修】 手洗い研修	感染管理基礎研修は年2回の参加が必須です。 本研修は必須研修です	全職員 ★必須研修
02	【★感染対策基礎研修】 標準予防策	感染管理基礎研修は年2回の参加が必須です。 本研修は必須研修です	全職員 ★必須研修
03	【抗菌薬適正使用研修】 肺炎から考える抗菌薬適正使用	肺炎は、頻度の高い感染症であり、特に高齢者や基礎疾患を有する患者では重症化するリスクが高く、迅速かつ適切な診断と治療が求められます。本講義では、肺炎診療における基本的なアプローチを再確認するとともに、実践的な診断および治療戦略について解説します。また、診療現場で陥りやすいpitfallを中心に取り上げ、それを回避するための具体的な方法についても議論する予定です。診療の精度を向上させ、抗菌薬適正使用に繋げられることを目標としています。	主に若手医師・薬剤師
04	【◆抗菌薬適正使用研修】 臨床医が知っておくべき抗菌薬・微生物検査のミニマムエッセンス	2015年5月の世界保健機構総会で「薬剤耐性（AMR）に関するグローバル・アクションプラン」が採択され、加盟国に自国の行動計画を策定することが要請されました。このことを受け、日本では2016年4月に策定された「AMR対策アクションプラン2016-2020」に基づいた抗菌薬適正使用推進活動が開始され、現在はアクションプラン2023-2027に引き継ぎ、継続されています。微生物の抗菌薬耐性は世界的な問題となっており、抗菌薬適正使用は医療現場における喫緊の課題といえます。病原微生物に関する微生物学的知識、微生物検査結果の解釈や微生物検査室との上手い連携方法、重要な抗菌薬の薬物動態・薬力学や、組織移行性など適切な感染症治療の土台となる知識がないと、実際の現場で「抗菌薬」を「適正使用」することは難しいです。抗菌薬化学療法認定薬剤師がどのように抗菌薬の用法・用量を決定しているのか、微生物検査技師がどのように微生物を同定し、薬剤感受性試験を行っているのかというプロセスを共有することで、医療従事者に「抗菌薬適正使用に向けた気づき」を促すことをねらいとしています。また、実際の臨床現場での適切な抗菌薬治療に応用できるようにするためにはどうするべきか活発な議論を行いましょう。	全職員 ◆日本専門医機構共通
05	【◆抗菌薬適正使用研修】 呼吸器内科医が考える抗菌薬適正使用	感染症は最もありふれた疾患で、感染臓器や原因微生物によって多岐にわたり、すべての臨床医が経験するものと思われます。特にわが国では、2017年より人口動態統計で死因順位に用いる分類項目に誤嚥性肺炎が新規追加され、2022年の統計では死因の第5位に肺炎、6位に誤嚥性肺炎が位置し、両者をあわせると脳血管疾患より上位の4位となります。新型コロナウイルス感染症・肺炎のパンデミックも記憶に新しく、わが国で感染症診療を行うには、呼吸器感染症についての知識が非常に重要となります。呼吸器感染症をうまくマネジメントできるスキルは、的確な診断・抗菌薬適正使用に必要不可欠であり、呼吸器以外の感染症や非感染性疾患を疑うきっかけになることもよくあります。日常診療における抗菌薬適正使用をテーマに、呼吸器内科医の視点から概説し、参加者と積極的なディスカッションを行いましょう。	主に医師・薬剤師 ◆日本専門医機構共通
06	感染対策を考慮した正しいおむつ交換方法	毎日行うおむつ交換を感染対策の視点を取り入れて安全に実践しましょう！	全職員

職員研修計画

07：病院防災研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
	大規模災害訓練		全職員
01	トリアージ研修 講義編 第1回	【講義編】 災害医療 トリアージの目的と方法	全職員
	トリアージ研修 実技編 第1回	【実技編】 トリアージの実施方法 一次トリアージ 二次トリアージ ※可能な限り2日間連続して受講して下さい 秒針のついていない時計を持参してください	講義編 受講者
03	図上訓練	災害対策本部員に求められる知識とスキルを習得します	
05	◎病院被災時の基礎スキル研修A	●災害時の医療を機能的に実施するための基礎スキル講座のひとつです ●トリアージの概念理解なくして効率的な災害対応はできません 1. EMIS 30分 2. トリアージ概念とタグの書き方 60分	全職種 (被災時にロジスティクスの役割を担う者)
06	◎病院被災時の基礎スキル研修B	●災害時の医療を機能的に実施するための基礎スキル講座のひとつです ●情報収集・共有の不在は本部運営を窮地に陥れます 組織図 患者一覧、クロノロ、情報メモとり	全職種 (被災時にロジスティクスの役割を担う者)
07	◎病院被災時の基礎スキル研修C	●災害時の医療を機能的に実施するための基礎スキル講座のひとつです ●外部情報の収集と発信がないと当院は孤立します 通信室の設置訓練と操作研修	全職種 (被災時にロジスティクスの役割を担う者)
08	◎時間外防災研修	時間外防災時の対策本部の立ち上げ実習	各職種当直者

08：救護班研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	救護班新規登録者研修	赤十字の災害救護活動 原子力災害に関する知識 救護班の役割と活動 救護所での活動	今年度新規救護班登録者（医師・看護職・主事）
	原子力災害時における医療体制について	トピックス「02」を参照	
03	ロジスティクス研修	午前：災害派遣シミュレーション（座学） （派遣決定から現場の活動までの流れ） 午後：本部機能・通信機器の展開及び使用・救急車操作・トリアージタグへの記載方法など（実技）	救護班の主事
04	救護班研修 I	収集すべき情報とは 情報伝達 無線の使い方（実技演習）	救護班要員
05	救護班研修 II（総合演習）	図上演習 救護所の設置 トリアージ・治療・搬送	救護班要員
06	救護車両運転研修		救護班要員 希望者

09：赤十字研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
02	赤十字概論	1. 赤十字のあゆみと活動 1) 赤十字の発祥と歴史的変遷 2) 赤十字の組織・機構と役割 3) 赤十字の誕生とその発展経過 4) 国際赤十字の機構と役割 5) 日本赤十字社の組織・機構 6) 赤十字の主な活動 2. 赤十字の現況と課題 1. 最近の赤十字の活動と現況と課題 3. 赤十字の基本原則と国際人道法 1) 赤十字の基本原則 2) ジュネーブ諸条約を中心とした国際人道法について等	1年目
15	日本赤十字社創立150周年プロジェクト ワークショップ	日本赤十字社は2027年5月1日に創立150周年を迎えます。いつの時代においても「苦しんでいる人を救いたい」という思いを実現するため変化するため変化する人道課題に対して幅広い事業を展開してまいりました。これからの時代、目まぐるしく変わる社会環境の中で「人間のいのちと健康・尊厳」を守り続けていくためには赤十字運動に関わる一人ひとりがこれからも変わることなく人々の苦しみに気づきやすきことについて考え、自らの行動に結びつけていくことが大切です。職員の間には、本プロジェクトをご理解いただき、今後の活動にご参画いただけますようご協力よろしくお願いいたします。	部署代表者
03	日本赤十字社救急法基礎講習会 日本赤十字社救急法救急員養成講習会	赤十字講習について	基礎 第1回
		【基礎講習会】 1. 傷病者の観察の仕方及び一次救命処置等救急法の基礎 1) 心肺蘇生法 2) AEDの使用法 3) 気道異物除去	養成 第1回
		【養成講習会】 2-1. 急病の手当て、けがの手当て 1) 止血法 2) 包帯法 3) 固定法 2-2. 搬送および救護	養成 第2回
※可能な限り、3日間を連続して受講して下さい。 ※無理な場合は、基礎講習会を受けた後、1年以内に養成講習会を連続して受講して下さい。 ※養成講習会の受講要件は、基礎講習会を受講済であることです			看護職2年目 および希望者

09 : 赤十字研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
04	災害看護論 I	I 災害看護概論 1. 災害医療概論 (1) 災害の定義、種類と健康障害 (2) 災害医療の特徴 (3) 災害と情報 2. 災害看護概論 (1) 災害看護の定義と役割 (2) 災害看護の特徴と看護活動 (3) 災害サイクルに応じた活動現場の災害看護 (4) 被災者特性に応じた活動現場別の災害看護 (5) 災害とこころのケア II 国の災害対策と日本赤十字社の救護活動 1. 国の防災計画、地域防災計画 2. 災害救護に関する国内法令、災害救助法、災害対策基本法等 3. 日本赤十字社が災害救護活動を行う根拠 4. 日本赤十字社の救護活動の範囲	看護職3年目 および赤十字救護員登録がまだの方
05	災害看護論 II	事前課題 各自（推奨） III 災害救護活動演習 4. トリアージ演習 III 災害救護活動演習 1. 担架搬送訓練 2. 包帯法等 3. 救護所設営 IV 最近の災害救護活動の現況と課題 1. 最近の主な災害の発生状況 2. 赤十字の主な救護活動 3. 赤十字の救護活動の課題 4. 災害時における看護活動 「災害時に私たち赤十字看護師が求められるものは何か」 レポート記入	看護職3年目 および赤十字救護員登録がまだの方
06	災害看護論 III	事前課題 各自（推奨） I 災害看護概論 1. 災害医療概論 (1) 災害の定義、種類と健康障害 (2) 災害医療の特徴 (3) 災害と情報 2. 災害看護概論 (1) 災害看護の定義と役割 (2) 災害看護の特徴と看護活動 (3) 災害サイクルに応じた活動現場の災害看護 (4) 被災者特性に応じた活動現場別の災害看護 (5) 災害とこころのケア IV 災害救護活動演習 4. トリアージ演習 II. 赤十字の現況と課題 1. 最近の赤十字の活動と現況と課題 III 最近の災害救護活動の現況と課題 1. 最近の主な災害の発生状況 2. 赤十字の主な救護活動 3. 赤十字の救護活動の課題 4. 災害時における看護活動 IV 災害救護活動演習 1. 担架搬送訓練 2. 包帯法等 3. 救護所設営 「災害時に私たち赤十字看護師が求められるものは何か」 レポート記入	赤十字教育施設の卒業生で赤十字救護員登録がまだの方

09：赤十字研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
07	教護員としての赤十字看護師フォローアップ研修 災害看護論	<p>事前課題</p> <p>各自（推奨）</p> <p>I 日本における災害対策および日本赤十字社の災害救護活動</p> <p>1 日本における最近の災害とその特徴</p> <p>2 国の防災対策</p> <p>(1) 災害救助法、災害対策基本法、大規模地震対策特別措置法、被災者生活再建支援法</p> <p>(2) 東南海・南海地震防災対策の推進に関する特別措置法</p> <p>(3) 国民保護法、国際人道法</p> <p>3 日本赤十字社の災害救護活動</p> <p>(1) 災害看護業務 (救護班派遣・被災者の受け入れ)</p> <p>(2) 救護班活動</p> <p>(3) 救護班要員の役割と指示命令系統（CSCATT）</p> <p>4 関連する組織・団体との連携</p> <p>(1) 災害拠点病院とDMATとの連携</p> <p>(2) 自衛隊、消防庁、警察等</p> <p>(3) 地域との連携（保健師、自治体等）</p> <p>(4) ボランティア団体（防災ボランティア等）</p> <p>II 災害看護の基礎知識と応用</p> <p>1 災害サイクルに応じた看護活動</p> <p>(1) 災害サイクル各期における避難所や仮設住宅での生活支援</p> <p>(2) 静穏気の減災対策（国の減災対策・病院等施設の減災対策・個人の減災対策）</p> <p>【講義60分・グループディスカッション60分】</p> <p>3 災害種類別疾病構造と救護活動</p> <p>(1) 自然災害の種類別疾病構造と救護活動</p> <p>①地震、津波、台風・洪水、火山噴火、竜巻等による死者・傷病者の特徴と救護活動</p> <p>(2) 人為災害の種類別疾病構造と救護活動</p> <p>①大型交通事故、爆発、化学物質自己による死者・傷病者の特徴と救護活動</p> <p>4 原子力災害時の救護活動</p> <p>(1) 放射線の基礎知識（放射線看護）</p> <p>(2) 緊急被ばく医療体制と救護所活動</p> <p>①緊急被ばく医療における看護職の役割</p> <p>②避難者等の除染と放射線の健康影響に対する不安・恐怖に対する相談</p> <p>③復旧期の看護職の役割</p> <p>(3) 原子力施設事故事例と救護所活動事例</p> <p>5 高齢者に対する災害看護</p> <p>(1) 高齢者の特性</p> <p>(2) 高齢者に対する発災直後の看護、避難所・仮設住宅での看護</p> <p>6 母性に対する災害看護</p> <p>(1) 妊産婦の妊娠経過の評価</p> <p>(2) 妊産婦への災害の影響</p> <p>(3) 搬送時の注意</p> <p>7 小児に対する災害看護</p> <p>(1) 子どもの特性</p> <p>(2) 災害による子どものストレスと看護</p> <p>(3) 子どものストレス反応</p> <p>(4) 子どもへのストレス反応に対する支援</p> <p>8 障がい者に対する災害看護</p> <p>(1) 身体的障がい者に対する災害看護</p> <p>①災害が障がい者にあたえる影響</p> <p>②災害サイクルに応じた障がい者への看護</p> <p>(2) 知的障がい者に対する災害看護</p> <p>①災害が障がい者にあたえる影響</p> <p>②集団の中での知的障がい者への支援</p> <p>(3) 精神障がい者に対する災害看護</p> <p>①精神障がい者のもつ脆弱性</p> <p>②被災体験と急性増悪</p> <p>9 慢性疾患患者に対する災害看護</p> <p>(1) 慢性疾患の特性と災害時の療養生活への影響</p> <p>①慢性肺疾患、糖尿病、慢性腎不全患者の看護</p> <p>②薬や食事の管理について</p> <p>【講義30分・グループワーク90分】</p> <p>2 災害時の感染管理</p> <p>(1) 感染制御の基本</p> <p>(2) 災害発生時における感染症の特徴と隔離方法</p> <p>(3) ライフライン途絶時の感染対策</p> <p>(4) 被災者への感染防止教育</p> <p>【講義・グループワーク】</p> <p>III こころのケア</p> <p>1 災害時の遺体の特徴とその反応</p> <p>2 遺体の処理方法</p> <p>3 遺体の取り扱い</p> <p>4 遺体の保全と管理</p> <p>【講義・グループワーク】</p> <p>IV 災害救護演習</p> <p>1 急性期の災害看護活動</p> <p>(1) 近隣医療施設、関連する組織団体との連携</p> <p>(2) 災害の種類と傷病の特徴</p> <p>(3) 病院施設における対応、被災者の受け入れ</p> <p>(4) 救護所の設置と運営</p> <p>(5) トリアージと傷病者のケア</p> <p>(6) 搬送</p> <p>(2025年度開催しない)</p> <p>2 亜急性期の災害看護活動</p> <p>(1) 災害時の病院業務支援の目的の理解</p> <p>(2) 被災病院の現状に応じた準備</p> <p>(3) 派遣先の病院職員の身体的・精神的状況の理解と配慮</p> <p>(4) 被災病院の災害状況、ケアニーズの理解と業務支援の実施</p> <p>小テスト レポート記入</p>	赤十字救護員登録者で実践者ラダーⅡ・Ⅲの者看護職のみ
08	こころのケア研修	オリエンテーション 日本赤十字社のこころのケア 保健医療福祉の仕組みと他機関連携 災害時のストレス反応 被災者へのこころのケア PFAの概要 こころのケア活動の流れと実際 こころのケア活動の流れと実際の実践 セルフケア まとめ、効果測定	希望者 救護班要員で未受講者の者 災害対策ナース養成研修受講者で未受講の者

09：赤十字研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
10	日本赤十字社健康生活支援講習会	高齢期における健康の維持と増進、家庭内の看護、自立に向けての介護及び地域の高齢者支援 ※2日を連続して受講してください	希望者 看護助手
11	日本赤十字社幼児安全法支援委員養成講習会	幼児安全法の支援員を養成する研修です。今後支援員として活動を希望する方はぜひ受講して下さい ※2日を連続して受講してください	希望者
12	グローバルヘルス I	グローバルヘルスとは ワンヘルスとは 健康に影響を及ぼす要因 グローバルヘルスに関連する概念 国内外のヘルスシステム 多文化理解とヘルスケア 教育と健康問題 訪日・在留外国人と健康 グローバルワーク	看護職1年目
13	グローバルヘルス II	レベル I の復習、健康問題、多様化するジェンダー、訪日・在留外国人に対するヘルスシステム、グローバルヘルスに関連する概念、ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)、地域アセスメント	レベル I 取得者（エントリー制）および希望者
14	グローバルヘルス III	1.実践者ラダーレベル III グローバルヘルスの指標 2.グローバルヘルスとは 3.健康に影響を及ぼす主要因 4.関連する概念 5.国内外の健康問題とヘルスシステム 6.多文化理解とヘルスケア 7.訪日・在留外国人と健康 8.災害と訪日・在留外国人	レベル II 取得者（エントリー制）

10：専門コース

研修コード	研修名	研修内容	開催日	開始時間	終了時間	対象
01	がん専門コース 肝臓がんについて	最新のがん専門知識について学びます				全職員 地域医療従事者
02	がん専門コース 口腔がんについて					
03	がん専門コース 消化器大腸がん（外科）					
04	がん専門コース 消化器胆・膵がん（外科）					
05	聞くに聞けない栄養管理 食事バランスの考え方と実践『スポーツ選手も糖尿病患者も基本は同じ』	身近だけでなく幅広く栄養や食事について、院内職員はもちろん、栄養士のいない施設や一人栄養士の施設の方々の業務の参考になればと思っています。食事を摂らない人はいません。職種を問わずご参加いただきたいと思います。				全職員 地域医療従事者
06	聞くに聞けない栄養管理 高血圧症の食事療法『減塩だけ？Na/K比って何？』					
07	聞くに聞けない栄養管理 栄養剤や補助食品の色々『食事がαか』					
08	聞くに聞けない栄養管理 嚥下訓練食について『学会分類の食形態と咀嚼困難食との違い』					
09	聞くに聞けない栄養管理 消化器疾患の食事『低残渣？分割？脂肪制限？』					
10	摂食嚥下ケア初級コース 摂食嚥下の基礎知識	摂食嚥下に関する解剖やケアの方法など、基本的な知識を身につけていただくコースです。難しいイメージのある摂食嚥下ケアですが、そのメカニズムから学んでいただき、摂食嚥下ケアへの理解を深めていけるような内容にしていければと思います。研修には実技や体験も取り入れていく予定です。※各回の研修テーマは予告なく変更となる場合があります				全職員 地域医療従事者
11	摂食嚥下ケア初級コース 誰でもできる嚥下リハビリテーション					
12	摂食嚥下ケア初級コース 嚥下障害の外科的治療と嚥下機能検査について					
13	摂食嚥下ケア初級コース 食事介助 きほんのき					
14	摂食嚥下ケア初級コース 嚥下×食支援 ～嚥下食食べたことありますか～					
15	フットケアコース 基礎知識（糖尿病足病変を中心に）	糖尿病患者さんの足は容易に潰瘍や足壊疽へと悪化しやすく、足切断に至ることもあります。正しくアセスメントし、治療や看護につなげましょう。爪の切り方についても具体的にお話する予定です。				全職員 地域医療従事者
16	フットケアコース 具体的なケア（爪切り）					

11：看護職 専門研修

研修コード	研修名	研修内容	開催日	開始時間	終了時間	対象
09	正しいおむつの選択と当て方	おむつ使用中の排泄物の漏れのほとんどは、おむつの選択が不適切である、もしくは当て方と書かれています。今回は簡単なおむつの紹介と、基本的な当て方を学習します。1回30分となりますので、お気軽にご参加ください。				全職員 地域医療従事者
10	頭側挙上時（ギャッジアップ）の褥瘡ケア	食事や呼吸状態などにより、日頃より頭側挙上（ギャッジアップ）をする機会が多いですが、院内褥瘡発生要因の第一位は長時間の頭側挙上による摩擦ずれによる影響です。昨年度に引き続き新しくなったマニュアルを元に頭側挙上時の摩擦ずれを体験し、圧抜き必要性や方法を学ぶとともに、ポジショニング時の注意点、スキンケア方法について考えていきたいと思います。				全職員

11：トピックス

研修コード	研修名	研修内容	対象
11	看護部方針説明会	2025年度看護部の方針について	看護職
01	頭痛との上手なつきあい方	慢性的な頭痛に悩んでいる方へ。自分の頭痛を知って上手に付き合しましょう。	全職員 地域医療従事者
02	原子力災害時における医療体制について	原子力災害時における医療体制について、日本赤十字社原子力災害時の救護研修の講師（日赤原子力災害医療アドバイザー）に講演してもらいます。	全職員 地域医療従事者
03	NST研修会 「豊橋市民病院のNST活動について」	私が豊橋市民病院でNSTを開始したのは今から20年前の2005年です。その頃からいろいろなことを考えて今日まで活動して来ました。低栄養から始まり、食欲不振、TPN、経腸栄養やERASなど様々なことに取り組み、NSTマニュアルを作成しております。最近、長年取り組んできたが故にわかった困難症例などを披露して学会で共有したりしております。この度は、これらの経験を皆さんと共有できることを楽しみにしております。	全職員 地域医療従事者
14	身体拘束体験研修	未定	全職員
13	骨折関係の研修（年一回開催）	未定	全職員
10	【☆診療報酬改定対応研修】看護補助者の更なる活用のための看護職員研修	・看護補助者との協働の必要性 ・看護補助者の制度的な位置づけ ・看護補助者と協働する看護業務の基本的な考え方 ・看護補助者との協働のためのコミュニケーション ・自施設における看護補助者に係る規定及び運用	看護職

12：救急標準化研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	救命救急処置技術講習会	認定コース（AHA-BLS、AHA-ACLS、ICLS）受講予定者の事前学習をサポートします。受講済みの方は、スキル維持のための学習の場としてご利用ください ①ポケットマスクをご準備ください ②実習のしやすい服装でご参加ください	ICLS受講者 希望者
02	ICLS 医療従事者のための蘇生トレーニングコース	突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生の習得 ※募集期間に伊勢志摩・救急標準化教育コース実行委員会のサイトより申し込んでください	1年目研修医
03	ISLS 脳卒中初期診療コース	病院等のERを中心とした神経蘇生の標準的な診療または観察	1年目研修医 希望者
04	JMECC（日本内科学会認定 内科救急・ICLS講習会）	日常臨床で遭遇する予期せぬ様態悪化に対応する能力を実践型教育により習得します	当院内科専攻医 および医師 希望者
05	JPTEC（外傷病院前救護）事前訓練	防ぎえた外傷死（Preventable Trauma Death：PTD）の撲滅を目指して、病院前救急医療の現場における、ロード&ゴーの概念を理解し、各段階において必要とされる観察・処置を見落としなく迅速に実施できるようになることを目指します ※募集期間に伊勢志摩・救急標準化教育コース実行委員会のサイトより申し込んでください	事前訓練 JPTEC受講者
06	NCPR新生児蘇生法「専門」Aコース	気管挿管や薬物投与などの高度な手技もしくはその知識を含む、高度な新生児蘇生法の習得	希望者
08	NCPR新生児蘇生法「スキルアップ」Sコース	蘇生技術の質の維持を目的とし「講義」「手技実習」「シナリオ実習」で構成された復習コース ※認定更新のための履修として受講する場合は、「有効期限の1年前」から受講が可能です	1) A・Bコースの修了認定者（助産師・看護師） 2) NCPR講習会受講経験者であり、再学習を希望するもの（但し1）を優先する。
17	INARS（ナースのための心停止回避コース）	1. 患者の見方や対応について学ぶ（個々のスキルアップ） 2. チームで戦うことの意義を学ぶ（チームのスキルアップ） 3. 必要なタイミングで医師を要請するための報告について学ぶ これらを外傷コースやAHA/PEARSなどに整合性を持って、より単純化し、体系的アプローチという手法を通して体験しながら学んでいきます。	各部署から選出 自ら行動し、スタッフへの周知ができる者
18	INARS（ナースのための心停止回避コース）指導者養成ワークショップ	INARS（ナースのための心停止回避コース）プロバイダーコースのインストラクタに必要な指導スキルを習得する。	INARS指導者候補者
19	PEEC（救急現場における精神的問題の初期対応）コース	精神的問題を有する救急患者に標準的な初期診療を提供するために、救急医療スタッフとして必要な医学的知識、接遇法、入院管理リソースの有効活用、外来フォローアップのつなぎ方をコースを通して身につける	研修医2年目 他
21	PPST（Prehospital PEEC Skill Training）コース	病院前救急活動に特化した、本コースは、PEECスキルを実践訓練を通して学ぶ。主に救急救命士を対象として病院前救急活動から医療機関へ自殺対策の連携につなげることができる。主にロールプレイやグループディスカッションを行いながら、理解を深めていく	県内のプレホスピタルで勤務する救急救命士等
20	JMELS（日本母体救命システム普及協議会）ベーシックコース	妊産婦死亡の一段の低下を目指すには、産婦人科医師のみでなく、救急医、麻酔科医、メディカルスタッフ等との協働及びそのための実践教育が重要との認識に基づくものです。本協議会は、あらゆる職種の周産期医療関係者に標準的な母体救命法を普及させることを目的として、母体救命システム普及のための講習会の企画・運営を最重要活動と位置付けています	医師・看護職
10	急変時対応オープンカンファレンス研修 ①気管挿管の介助	【メッセージ】 突然おこる急変や災害に向けて、いつでも対応できるよう学習できる機会です 短い時間で実際に手技を学びます。申込は不要です。気軽に立ち寄ってください	全職種
12	急変時対応オープンカンファレンス研修 ②モニター付き除細動器の使い方	【メッセージ】 突然おこる急変や災害に向けて、いつでも対応できるよう学習できる機会です 短い時間で実際に手技を学びます。申込は不要です。気軽に立ち寄ってください	全職種
11	成人コース ★心肺蘇生講習会（AHA Family & Friends） 小児コース ★心肺蘇生講習会（AHA Family & Friends） 乳児コース ★心肺蘇生講習会（AHA Family & Friends）	医療機能評価第二領域の2.1.8「患者等の急変時に適切に対応している」で、全職員を対象に心肺蘇生（CPR）の訓練が行われていることが求められています。 2021年度より毎年全職員が受講できるよう、毎月1日5日開催します。各時間帯の定員は24名（8ブース）です。 救急法、ICLS、BLS、ACLS等の講習に参加またはインストラクター、タスクをした場合も受講となります。 時間外での参加の場合は時間外申請可能です。 内容は、「AHA Family & Friends」のDVD聴講および実技です。 ※修了者にはNPO法人日本ACLS協会の修了証を発行します。	全職員 ★必須研修 （各時間：8ブース 32名定員）
22	DCLS（Dental Crisis Life Support 歯科診療危機初期対応）コース		歯科医師 歯科衛生士

13：出前式研修

研修コード	研修名	研修内容	研修交渉先
	病院内で利用される放射線について	病院で利用される様々な放射線について理解を深めていただけたらと思います。 放射線・放射能そのものについて、被ばくに関すること、放射線科で行われる検査・治療について等、内容はご相談の上決定させていただきます。	講師と交渉 放射線技術課
	認知機能低下がある高齢者、認知症患者のアセスメントとケア～認知症ケアカンファレンスを通して考える～	これからますます多くなる認知機能低下がある高齢者、認知症患者さんに対して、認知症の人を1人の人として体験を正しく理解して、それを受け入れることが何よりも看護として重要です。その人がうまく訴えられない心理的なニーズを知ることがパーソンセンタードケアであり、これからの認知症看護の基盤となります。実際にアセスメント、ケアを考えられるよう事例検討を交えながら考えていきます。患者さんとも看護師も共に笑顔になれるかわりを目指していきましょう。	講師と交渉 認知症看護認定看護師
	認知症の人の食事支援	高齢者の食べられない原因を身体面、精神面、認知機能面、環境面など多方面から考えてみるのが大事です。食べられない患者の背景に隠れている真実の探求もなく「拒食」と言っていないか、認知症者がどのような食べられない状態にあるのかという「事実」をしっかり見極める。時には患者に直接理由を聞いてみることも必要です。食べられない患者さんを事例を用いて一緒に考えてみましょう。	講師と交渉 認知症看護認定看護師
	認知症看護 認知症患者さんとのコミュニケーション方法について考える	認知症患者さんの思いや中核症状を理解した上で、認知症患者さんにあわせたコミュニケーション方法を考えることで、スタッフはその人に応じた関わりができるようになり認知症患者さんが安心できる生活をめざしましょう	講師と交渉 認知症看護認定看護師
	リンパ浮腫予防指導	いったん発症すると完全に治すことがむずかしく、患者さんのQOLを大きく損なうリンパ浮腫。 リンパ節郭清を受けた患者さんの手術後の生活で重要なリンパ浮腫の予防指導を学びましょう	講師と交渉 がん看護専門看護師

30：研修医セミナー

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	研修医実務研修	<p>研修医オリエンテーション① 自己紹介 伊勢赤十字病院 臨床研修について メンターについて</p> <p>MMO三重県新採用研修医オリエンテーション 医師会の組織について 三重県における初期研修 ・MMOとは・研修制度の概要 ・MMO e研修医手帳について ・MMOプログラムについて ・MMOホームページについて</p> <p>救急診療、救急専門医のキャリアパス 臨床検査と病理検査の基礎知識～オーダーする前のワンポイントアドバイス～ 三重県の医療の現状 専門医制度をめぐる現状 オープンセミナー BEAMS Stage 1（臨床研修において必須の研修） 研修医のための医療安全～医療者としての自身を守るために～</p> <p>研修医オリエンテーション② スケジュール作成、研修開始から終了まで、評価等、必修科と研修期間、休止期間、必須項目、病歴要約、レポート、研修医の業務、医療安全管理体制 PG-EPOCについて、その他</p> <p>救命救急センターについて</p> <p>救急医療体制について</p> <p>医療用麻薬の適正使用に必要な知識～安全に扱って、上手に使うために～</p> <p>臨床研究の基本的知識・文献検索・臨床支援ツールの活用</p> <p>研究倫理と倫理コンサルテーション（リスボン宣言、ヘルシンキ宣言）／利益相反</p> <p>医療保険制度と診療報酬 病歴管理・DPC</p> <p>保険医登録・麻薬申請 就業管理等</p> <p>携帯電話・PHSの使用 医師賠償保険・旅費についての説明</p> <p>感染対策研修 ガウンの着脱などの実技 ルミバルス検体採取 血培採取</p> <p>酸素ボンベ・ME機器の取り扱い</p> <p>実技研修（点滴の作り方、末梢静脈留置針挿入等）</p> <p>各書類の書き方指導</p> <p>電子カルテについて</p> <p>死亡診断書の書き方 カルテの書き方</p> <p>栄養士の業務と食事のオーダーについて</p> <p>臨床検査課について(オーダーの仕方)</p> <p>病理部について（オーダーの仕方）</p> <p>放射線の安全利用とオーダーの仕方について</p>	1年目研修医

30 : 研修医セミナー

研修コード	研修名	研修内容	対象
		病理部について（オーダーの仕方） 放射線の安全利用とオーダーの仕方について 薬剤部の業務とオーダーの仕方について 弾性ストッキングの使用方法と静脈血栓症（DVT研修） 医療安全研修(事例分析) 1. インシデント・アクシデントの入力方法 2. I-m Safer 講義 3. I-m Safer グループワーク 4. ミニレクチャー 実技研修（皮膚縫合シミュレーション研修） 基本的臨床能力評価試験 実技研修（エコーガイドPICC挿入と皮膚縫合シミュレーション研修）	1年目研修医
03	ハンズオンセミナー	腹部エコー/心エコー	
07	腰椎穿刺シミュレーション研修	シミュレータを用いた腰椎穿刺術のトレーニング	
15	臨床研修医のための臨床研修Webセミナー	救急 X線読影 感染症 総合診療 糖尿病 外国人診療 リウマチ 膠原病	研修医
05	T&A(triage&action) 救急初療コース	救急診療の現場で致命的疾患、または適切な治療が受けられなければ機能予後にかかわる疾患を見極め、適切な初期対応と安定化を図るための知識・方法	研修医 ※1年目研修医は必須
02	研修医セミナー	脳神経内科	研修医
11	内科グランカンファレンス		医師・専攻医 研修医
12	Wild duck		
13	臨床病理検討会（CPC）		
14	研修医症例発表会	研修医が症例発表し、参加者全員でディスカッションする機会とします。	

50 : 地域医療従事者研修

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	消防機関と地域の医療機関向け研修「ROAD TO TRAUMANIA ～ROAD & GO～」	重症度の高い外傷であるほど、病院到着から問診入れず診断、治療ははじまる。このため、プレホスピタルのメンバーからは、病院のドアをくぐりぬけた、以降のドラマは通常伺い知ることできない。本講義では、現場で命のやりとりで懸ける外傷医が、病院内での治療について網羅的に語る。 受講者には受講証明書が発行されます。	地域の消防機関 院内職員
02	ウロストミー器具交換	施設、訪問看護ステーション向けの研修となります。今年度は主にウロストミーについての基本的な知識や器具交換方法（演習含む）について学ぶことが出来ます。器具交換の演習も行いますので、可能な限り当院にお越しいただきご参加いただけますと幸いです。	訪問看護師、施設看護師 院内看護師希望者 (定員25名：1施設1～2名)
03	褥瘡ケアコース 体圧分散ケア（体圧分散器具）	施設・訪問看護ステーション向けの研修となりますが院内の看護師も参加可能です。またコースとなっておりますが、トピックとして一つのテーマのみの参加も可能です。体圧分散ケアに関しては、実際にエアマットレスの種類や体験をしてもらいたいと思います。お気軽にご参加ください。	全職員 地域医療従事者
04	褥瘡ケアコース 褥瘡評価/DESIGN-R2020		
05	褥瘡ケアコース 褥瘡の治療		

99 : その他

研修コード	研修名	研修内容	対象
01	緩和ケア研修会		主に医師・薬剤師 看護師